

原発・核実験の放射能汚染を徹底検証した世界的労作の初邦訳!

The Petkau Effect

人間と環境への 低レベル放射能の脅威

福島原発放射能汚染を考えるために

Ralph Graeb Earnest J Sternglass
ラルフ・グロイブ/アーネスト・スターングラス [著]
肥田舜太郎/竹野内真理 [訳]

いま、福島原発事故の
放射能汚染の深刻さを
見定めるために
そして、未来を生きる
子どもたちのために

ノーベル賞に
匹敵するといわれる
「ペトカウ効果」を
つぶさに紹介、
原発・核実験の
放射能汚染を
徹底検証した
世界的労作の
初邦訳!
あけび書房

A5判、340ページ 3990円 ISBN978-4-87154-100-8

恐るべき低線量内部被曝

原発・核実験の放射能汚染を
徹底検証した
世界的大労作の初邦訳!
いま、福島原発事故の
放射能汚染の深刻さを
見定めるために

ラルフ・グロイブ/アーネスト・スターングラス [著]
肥田舜太郎/竹野内真理 [訳]

●本書「まえがき」より

福島原発事故のさなかに—本書の概略と意義—

本書は、ラルフ・グロイブとアーネスト・スターングラスの著書『The Petkau Effect』（ペトカウ効果）の初の邦訳出版である。

詳細は後述するが、「ペトカウ効果」とは、約 20 年間、カナダ原子力公社の研究所で医学・生物・物理学主任だった、アブラム・ペトカウ博士が発見した、低線量放射線による生体レベル、細胞レベル、分子レベルでの影響のことである（一部の研究者からはノーベル賞に値すると言われている）。

本書は、「ペトカウ効果」を詳細に紹介すると同時に、原爆、核実験、そして原子力発電所がもたらす様々な放射線被害、および今日までの政府当局による放射線防護基準の欠陥を、世界各国の数多くの研究者の論文と当局側からの発表という双方からの視点を交え、膨大な量の貴重な資料をもとに記している。……

●好評発売中● 事故報道、放射能汚染などを考え合うために

マスコミ報道で欠落している重大問題を明示する
これで
いいのか **福島原発事故報道**
丸山重威 [編著] ●1680円

**脱原発、再生可能エネルギー
中心の社会へ**
福島原発事故を踏まえて、
日本の未来を考える
日本環境学会会長 **和田 武** [著] ●1470円

ご購入の際は、最寄りの書店か取扱先、あるいはあけび書房か著者へご注文下さい。

キリッ線

注文書		書店印・取扱先
人間と環境への低レベル放射能の脅威を() 冊注文		
その他・備考	氏名・団体名	送付先 〒()-() () 電話()
	ご担当者氏名	

取次帖台：トーハン・日販・大阪屋・大洋社・新日本図書・JRC・鎌倉・大学図書・全官報・中央社・栗田・日教販

発行
FAX 03-3394-2007
TEL 03-3394-2007
あけび書房

あけび書房 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
E-mail: akebi@s.email.ne.jp http://www.akebi.co.jp 価格は税込